

高知憲法速報

No.245 2010. 12. 21

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

「動的防衛力構築」、南西諸島への部隊配置など 民主党政権下初めての新「防衛計画の大綱」決定

12月17日、菅内閣は民主党政権になって初めての「防衛計画の大綱」と、その具体化である「中期防衛力整備計画」を閣議決定しました。「基盤的防衛力構想」を改めて「動的防衛力を構築」すること、地球規模での自衛隊の展開、「島嶼防衛」のための部隊や潜水艦の配備、PKO参加5原則の見直し、日米同盟の深化・発展など、極めて危険な内容になっています。(中央憲法会議の抗議声明を資料として添付します)

比例定数削減反対の声明について

12月20日現在、「比例定数削減反対のアピール」に賛同する団体は39、賛同個人を18人集計していますが、国会情勢もにらんで、もう少し集めてから発表したいと考えます。12月中に団体・個人で賛同していただける方をご連絡ください。

米軍基地は日本防衛でなく侵略のための基地

—12月3日・日本平和大会・佐世保基地調査から—

日本平和大会 in 佐世保が12月2日から開催され、3日には船での調査を含む「基地調査」がありました。佐世保は米海軍強襲揚陸艦部隊の母港で、西太平洋の燃料・弾薬の補給基地、修理基地、中継拠点です。まさに出撃のための基地です。実態の一端を紹介します。

@強襲揚陸艦エセックスはエアクッション型上陸艇

L C A C (エルキャック)を搭載し、海からの殴り込みをかける戦闘部隊の支援艦です。手術室6、集中治療ベッド15、ベッド500床、X線装置2組、血液処理室、薬剤室などが備えられています。通常は2名の医師が常駐するが2000人規模の海兵隊を搭載するときは8名の医師が乗艦し、4名の医師が海兵隊とともに上陸するといいます。敵の陣地に乗り込むために味方が受ける激しい被害を想定して医療施設の機能をもちあわせている艦艇です。佐世保にはエセックスの他に3隻の揚陸艦が配備されています。また上陸作戦を成功させるために、仕掛けられた機雷を処理する掃海艦4隻の母港でもあります。

3日は、九州西方などで行われた日米共同演習に出かけており姿を見ることはできませんでした。崎辺地区にL C A C 7機の駐機場、関連施設があります。空気を海面に吹き付けて浮き上がるため、騒音やまき散らす海水の塩害がひどく、佐世保市は運用の中止を求めています。12隻のL C A Cを整備できる本格的な新駐機場を、横瀬地区に思いやり予算280億円で建設中です。

- @米第7艦隊の艦船約70隻を3カ月行動させることが可能な約85万キロリットルの燃料と、約4万トンの弾薬を貯蔵しています。赤崎貯油所、庵崎貯油所、横瀬貯油所、赤崎医療用倉庫、前畑弾薬庫、針尾島弾薬集積所などがあり、一部は民家とも接近しています。古い弾薬の処理場もあります。
- @佐世保ドライドックは、第2ドックを米軍に提供し、揚陸艦や掃海艦の修理が行われています。米軍が使わないとき海上自衛隊が地位協定2-4-aで共同使用、SSKが使うときは使用料を支払っています。第3ドックは1968年に返還されたが、地位協定2-4-bで、米軍が共同使用できることになっています。この時に「米軍が7日前に通知すれば、第3ドックを優先的に無償で使用できる」という屈辱的な「返還使用協定」が締結されています。1996年米軍がベローウッド修理のために半年間の明け渡しを要求、SSKは360億円もの損害になるため徹底抗戦しました。政府は浮きドックを横浜から回航し、米軍は其中で修理、浮きドックの費用18億円には思いやり予算が使われました。他のドックはSSKが使用中。
- @佐世保基地への施設整備費は10年度までの予算累計で1564億円、日本人従業員約1500人の給与の内約77億円を日本が支出、電気代10.5億円、ガス・上下水道・燃料代など約6.4億円も支出。佐世保海軍基地のゲート近くに西九州自動車道のインターチェンジを建設するため、米軍住宅の一部を取り壊し、高さ14m、長さ250mの擁壁が作られ、11戸の住宅が完成。経費28億円は道路特定財源から支出。
- @佐世保は海上自衛隊の海外派兵の拠点でもありません。地方総監部や護衛艦、補給艦、潜水艦などが配備されています。陸上自衛隊相浦駐屯地に、西部方面隊普通科連隊が創設されました。離島防衛を名目にした「有事即応部隊」、事実上の自衛隊版・海兵隊です。毎年完全武装で市内をパレードしています。